



## 雪かきと子どもたち

昨年の12月は全く降らなかった雪でしたが、年が明けてからは昨年よりもたくさん降り、休み時間には子どもたちが様々な雪遊びを友だちと楽しんでいます。また、雪かきを進んで手伝う姿もあります。

一昨日の雪では、用務員の細井先生が深夜から除雪したり、櫻井工務店さんも夜明け前に除雪してくださったりしたので、除雪の必要なところは限られていましたが、そんなところを見つけると進んで雪かきをする人がいました。



給食センターの車が出入りする場所を4年生の伊月さんが一人で雪をかいていました。また、地下通路をこちらも4年生の勇市郎さん、明希さん、拓海さんが手伝っていました。理由を聞いてみると、

- 伊月さん「この前もやったから」
  - 拓海さん「滑って危ないから」
  - 勇市郎さん「細井先生が一人で大変そうだったから」
  - 明希さん「雪かきをしようと思ったから」
- と4人4様の答えが返ってきました。

伊月さんの「この前もやったから」には、継続して行う喜び、雪かきの楽しさを感じていることが伺えます。拓海さんの「滑って危ないから」には、自分たちが歩くところなのだから自分たちで安全にしたいという自立心を感じます。勇市郎さんの「細井先生が一人で大変そうだったから」には人を思いやる優しさ、明希さんの「雪かきをしようと思ったから」には目の前の雪に向き合う純粋な気持ちを感じます。同じことをしていても人の思いはそれぞれ違いますね。「ちがうはステキ」「ちがいは豊かさ」

先週の金曜日の雪かきのことを5年生の結希さんが「**ありがとうの言葉**」という題で日記に書いたので紹介します。

生活の記録 **ありがとうの言葉** 今日のぼく・わたし ☺ ☹ ☹

今日学校に来たら先生達が雪かきをしていました。ありがとうです。かいた所の雪を下りたら校長先生に会い、手が足りないのかばんをおいたら雪かきを手伝って、れると言われました。私は今日七時二十分が十五分まで早く来たので手伝いました。雪がすごく多くて大変でした。私はほそい先生と一緒に場所をやっていました。やていくうちにほそい先生としゃべれるようになりました。私が雪をかいていたら上手だねと言ってくれたのでうれしかったです。ゆえに雪が落ちてきたら近くにいた校長先生が

生活の記録 今日のぼく・わたし ☺ ☹ ☹

結希さんが沢山やってくれて目力がたふ、ありがとうと言ってくれました。うれしかったです。ありがとうと言われたらうれしくて一番雪かきをしてくれたのが、四年生のかの人さんという子で一時間やっていました。私は七時二十分位から八時五分位までやりました。私は大体四十五分やりました。私は最初「カれるな」と思ってたやる気がなかったです。けど、どんどんどんどんやていくうちに楽しくなりました。学校でもまたやりたし、家でもやると思っています。(結希) ありがとう(結希) (結希) (結希)

→ 雪かきをする先生方の姿を見て「**ありがとうございます**」と感謝の心もち、素直に表現できるところがいいですね。文字も丁寧に書いています。4年生の花音さんががんばる姿にも気をとめ、実はその姿に刺激を受けて自分もがんばっていたことにも気づいています。やり始めは疲れてしまい、やる気がなくなってしまう心の弱さと葛藤しながらも、それを乗り越えることで感じる楽しさを「**どんどんやていくうちに楽しくなりました**」と感じているところがいいですね。そして、「**学校でもまたやりたし、家でも「やろう」と思いました。**」と次への意欲をもてたところもいいです。

## <保護者の皆様へ>

ご家庭でも通学路の除雪にご協力をいただき、ありがとうございます。また、校内の除雪をお願いしている櫻井工務店さんへの謝礼は保護者の皆様のご尽力によるPTA特別会計から支出させていただいております。おかげさまで1月の大雪でも、登校時刻を遅らせるような対応をせずに済みました。

### 3年生の道徳の授業から ～自分らしさをつくるために～

オリンピックで金メダルを3回とった元レスリング選手の吉田沙保里さんと、宇宙飛行士の若田光一さんの資料を読んで、「自分らしさ」を伸ばしていくためにはどんなことができるか、考えました。

若田さんみたいに  
あきらめないで、  
がんばる。  
吉田さんみたいに  
目標を持って一生懸命  
取り組む。



嫌だなと思うことがないように、  
失敗をいいことに  
考えて、小さな目標を立てて、  
それに向かって  
自分らしさを伸ばしたい。

友だちとの対話から考えを深める

あきらめないで、  
今できないことを  
一生懸命に取り組む。  
失敗してもその回数（失敗した  
数）より多く成功させればいい。



「もっと好きなことをやる」

子どもたちは資料を読んで、吉田さんや若田さんに憧れをいだきながらも、陽菜さん、捺葵さん、結芽さんのように「あきらめないで…」「小さな目標を立てて…」「できないことを一生懸命に…」などと自分とつなげて考えましたが、大土さんは

### 「もっと好きなことをやる」

と考えました。この考えを保護者の皆様はどう思いますか。

自分が好きなこと、したいことを存分にやることによって個性が伸張されていく……



左の写真の場面は3年生が作った雪山で「5年生が遊ばせてもらっている」のだそうです。雪が降って以来、休み時間には子どもたちがいろんな友だちと雪遊びをしています。このように多様な他者と交流しながら夢中になって遊ぶことから自分らしさが作られていく……。

### 「しなければならない自分」

だけではなく、

### 「自分がやってみたいことを追究する自分」

をつくる授業・クラス・学校にしたい……と願います。よろしければ、朝のオクレンジャーで学校だよりのご感想やお考えなどをお知らせください。待っています。